

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、どの設問においても全国平均を上回る正答率でした。特に、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く設問において、全国平均を大きく上回る正答率でした。数学でも、ほとんどの設問において全国平均を上回る正答率でした。特に、ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見出し、それを数学的に説明する設問において、全国平均を大きく上回る正答率でした。

質問紙調査では、「計画を立てて家庭で学習している時間数」「読書量」「総合的な学習の時間の活動の充実」を尋ねる質問について、それぞれ肯定的な回答率が全国平均を大きく上回っていました。これは「家庭学習記録表」の有効活用と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善によるものだと考えています。

課題と対応

国語では、「話すこと」「聞くこと」の領域で、質問の意図を捉えたり、話合いの話題や方向を捉えて話す内容を考えたりする設問の正答率が、全国平均より高いものの、他の設問に比べると差が小さいので、学校教育の中で話合い活動を意図的に設定し、技能の向上に努めます。数学では、与えられたデータから中央値を求めたり、相対度数の必要性和意味を理解したりする設問の正答率が低く、課題が見られました。類似問題を授業に取り入れたり、家庭学習を利用したりして定着を図っていきたいと考えています。

質問紙調査の結果では、「1日当たりのテレビゲーム（コンピュータ・携帯型・携帯電話・スマートフォンを含む）をしている時間」「今住んでいる地域の行事への参加」という質問に対して肯定的な回答する生徒の割合が全国平均と比較すると低いことが課題であると分かりました。学級活動や道徳等の時間に生活習慣の確立や郷土を愛する心を育んでいくとともに、メディアコントロールを推進していきたいと考えております。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果や本校の学校評価アンケートによると、自分で計画を立てて家庭学習に取り組む、学習時間も長くとれているなど学習習慣が身に付いてきていることが分かります。学習塾や家庭教師に教わるのではなく、自分で学習に取り組んでいる生徒が多いことが特徴です。読書時間も十分確保できています。しかし、テレビゲーム（コンピュータ・携帯型・携帯電話・スマートフォンを含む）をする時間が長く、また住んでいる地域の行事へほとんど参加できていない生徒も多く見られます。地域でメディアコントロールに取り組んだり、自分たちの郷土に関心を持てるような話題をご家庭で取り入れたりしていただき、生徒の更なる成長や自立につながるように、一層のご協力をお願いします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が確実に身に付いている。
	社会	資料から必要な情報を読み取る力が身に付いている。
	数学	立体の展開図について確実に理解している。
	理科	植物の花のつくりと実について知識を持ち、思考して表現することができている。
	英語	自分や日常生活に関する身近で簡単な事柄について聞き取ることができている。
	学習状況	計画を立て家庭学習に取り組むことができている。
第2学年	国語	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の理解が深まっている。
	社会	授業で何を学ぶかを明確にすることで、社会科の知識は高まっている。
	数学	いろいろな解法を学習し、練習したことで、答えを導く力が伸びている。
	理科	思考の流れをくり返し練習することで、既習内容をもとに課題を解決する力が伸びている。
	英語	日常生活に関する英文を聞き取ることができている。
	学習状況	計画を立てて学習に取り組み、授業以外の学習時間も確保できている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	話すこと・聞くことの領域に課題がある。	<国語> 授業に音声言語による表現活動を多く取り込んでいく。 <社会> 授業の中で文章で自分の考えや意見をまとめる活動を多く取り込んでいく。 <数学> 日常生活の事象に見られる増量の場面を図に表して、数量の関係について捉えることができるようにする。 <理科> 各分野の学習において自然体験の大切さや日常生活や社会における科学の有用性を実感できるような場面を設定する。 <英語> 音声とその意味理解が定着するよう繰り返し練習し、必要な情報や話の概要を捉えることができるようにする。 <学習状況> 学習計画・方法について見直しをさせ、計画的に取り組めるようにする。
	社会	様々な事象について、文章で表現する力が低いことに課題がある。	
	数学	基準量と比較量と割合の関係を正しく読み取ることに課題がある。	
	理科	学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめて考えることに課題がある。	
	英語	単語の意味理解や短い話の概要を捉える力に課題がある。	
	学習状況	家庭学習時間を十分確保している生徒とそうでない生徒との差が大きいことに課題がある。	
第2学年	国語	話すこと・聞くことの領域に課題がある。	<国語> 授業での音声言語による表現活動を増やしていき、学んだ知識や技能を定着させていく。 <社会> 授業の中で自分で課題を見つけ意見や考えを発言する機会を今より増やしていく。 <数学> 実際に模型を扱う機会を増やし、視覚的に理解したり、知識が定着するよう反復する。 <理科> 様々なデータを用いた活用練習を繰り返し、資料を読み解く力を伸ばしていく。 <英語> 毎時間単元ごとの基本文をペアで暗記する活動に記述によるテストを加え、作文力を上げていくようにする。 <学習状況> 総合的な学習や行事への取組等を通して目標をもって取り組ませたり自己有用感を高めたりしていく。
	社会	思考・判断・表現の正答率が他に比べて低い。考えを文章で表現する力に課題がある。	
	数学	平面図形についての知識・理解に課題がある。	
	理科	実験結果のデータを整理したり、データを活用して計算したりする力に課題がある。	
	英語	選択・短答形式に比べ、記述形式の正答率が低く、表現する力に課題がある。	
	学習状況	夢や目標をもつ率や自己有用感がやや低く、自ら学習を深めようとする意欲に課題がある。	

【保護者・学区の方へのお願い】

話すことや聞くこと、内容をまとめ記述することが各教科共通の課題となっています。学校でも朝読書の充実や授業改善を通して対策しますが、読解力を高めるためにご家庭でも新聞を読んだり、読書をしたりすることを習慣化できるようにご協力ください。また、生活習慣において起床時間・学習開始時間・就寝時間の3点固定についてご協力ください。